



横浜のあたらしい未来を想う  
ローカルメディア



発行/ココハマ合同会社  
〒220-0023  
横浜市西区平沼1-38-2  
TEL 045-620-5255

【web版】

<https://www.hamakko.jp/cocohama/>

あなたの絵・イラストを  
「ココハマ」誌名の  
背景にしませんか？

web版より応募受付中♪

# 「横浜こども食堂」

## 一万食の提供 広がる支援

横浜西区のこども食堂「ももふねキッチン」が、6月に提供開始から1万食を越え支援の輪が広がる。ももふねキッチンは、東京牧場株式会社（本社：東京都檜原村）の横浜フードラボスタッフらが、コロナ禍で地域に貢献したいとの想いから、会社の設備や食材を利用できないものかと考え、毎週金曜日にカレーを提供する事になり、6月に延べ1万食を超えた。



ももふねキッチン調理スタッフ

同じカレーではつまらないと、毎週違うカレーを考案し開始から1年で50種類のカレーメニューを開発した。こどもたちの反応も上々であると同時に、定期購入する母親からも、こどもがアスパラガスを食べるとは思わなかった等と、野菜嫌いのこどもたちの食育にも一役買っている。

食材は旬により、地方の農家からこども食堂への寄付として届けられるものを利用してはいるが、メインのお米は東京牧場が三重県鈴鹿市の自社水田で育てる自家米。

一回200人分で炊くお米も、10升を超え大釜で炊くご飯のおいしさもあるが、三重の自社水田は、減反で利用されなくなった不耕作地を復活させ、農薬を使わないようにゆとりある植え方をした事で、単位面積当たりの収穫は減るが、病害虫も少なく伸びやかに育つという、いわば、昔ながらの農家用の自己消費米の作り方を踏襲しているという。

東京牧場 鈴鹿農場長の飯場さんは、「減反された田んぼが復活するのは嬉しい。日本人には米が合っていると思うし、こどもたちが米食を楽しんでくれれば作りがいがある。米作りにも興味を持ってもらえれば」と言い、近隣から米作りボランティアも参加してく

れ、年間10万食までお米の増産が可能としている。

### 週替わりの味

横浜フードラボには、大学生のボランティアスタッフも多い。アスパラガスという技術を利用して水耕栽培でレタスを育てる工学系の大学生、管理栄養士を目指す女子大学生は、味の面だけでなく栄養面からこどもたちをサポートする。



アスパラガスカレー

味に変化をつけながら、食べず嫌いをなくしてもらいたいとの思いから、具材やトッピングに工夫したカレーを出している。写真のアスパラガスカレーでは、茎の部分を細かく切ったものを、バターと一緒にごはん混ぜこんで出したところ、大変好評だったという。

### 最新の調理機器



東大生インターンが200人前を調理

横浜フードラボには、ドイツ製の最新調理機器が導入され、コンピュータと接続されている。調理データも記録されるので、安全・安心を最優先に新メニューのプログラム開発に積極的な挑戦をしていることにより、今までは年単位の調理実習が必要だったローストビーフなどが、料理初めての人が1日目で実現できるようになったという。

東京牧場では、こども食堂活動の資金をはじめ食材など寄付を受け付けている。  
詳細は☎0120-256-800 または  
電子メール = [staff@tokyofarm.co.jp](mailto:staff@tokyofarm.co.jp) まで。

こども食堂  
「ももふねキッチン」の  
ホームページはこちら。  
<https://momofune.com/>







神奈川県の教育方針に大きな変化

高校の学校単位を民間企業への「出社」で取得する。そんな実践的な単位取得のシステムが、試験的に運用が開始されているのをご存じでしょうか。

学校単位は、週一時間の授業一回で1単位と定められ、高校の場合1年間30単位程度を取得するものとしていますが、この単位を高校生が民間企業に出社する事で、単位同等と認める動きが本格化しました。

県立高校のデュアル教育システム

民間企業への出社は、社員と同等に行われています。大学生ではインターンと呼ばれ馴染みのある制度ですが、高校生では、ドイツ発祥の「デュアル教育システム」として運用。学生時代に実社会を体験する事を授業そのものとし、卒業後の即戦力育成はもちろん、生徒さん自身が感じる実社会と学校教育とのギャップを埋める目的もあるそうです。

日本では神奈川県教育委員会

が、識者会議を経て数年前より実証実験に入りました。県立高校の中でも商工農科で行われ、保土ヶ谷区の県立商工高等学校や、三浦市の県立三浦初声高等学校の生徒さんが民間企業に実際に出社しています。

農業の枠を超えた実践的な体験を、横浜で

この単位取得システムを導入している県立三浦初声高等学校からは、2年生の生徒3名が、2年間の予定で、毎週木曜に横浜市西区の東京牧場(株)へ出社しています。

神奈川県羽沢の会社所有の農場で実際に農業に従事し、ここで収穫した野菜を使ったメニューを開発。プロの調理スタッフの手を借り、会社併設のレストランでテイクアウト商品を販売しています。農業を起点に、作物が調理され消費者まで届けられる過程に携わるのは、実務ならではのですね。

農家の担い手不足が深刻化する昨今、若者達が自信を持って農業に進める環境を整備する事が、横浜をはじめ、神奈川、ひいては全国の第一次産業の衰退を食い止める、とても大切なカギと言えるのです。

◇ ココハマでは横浜のSDGsをこれからも取り上げます。

あなたご自慢のご家族・ペットの動画をご紹介します

**ココミテ 動画 and Photo**

横浜市西区 高橋さんちの サクラちゃん(ラブラドルレトリバー/5才)

じゃ、諸行無常…

カメラを向けても、バツの悪そうに目をそらすサクラちゃん。その理由とは…!

気になったら、ココハマ web版で続きを見てね!

hamakko.jp/cocohama/kokomite/

あなたのご家族やペットのイチオシ動画(写真もOK)大募集! 上記URLの(投稿はこちらから)より動画や写真を投稿してください。採用された方にはLINE pay 500ptをプレゼントいたします!

子育て・孫育て・夫育て お疲れ川柳 ①

夏マスク 我が子の尻も蒸れます苦

作・横浜市神奈川区 マリヲ・粕ハートさん

お、互いタイハンドですね…

子育て・孫育て・夫育ての川柳が大募集 あなたの川柳がココ漫画になります

ココハマ web版応募フォームまたはおハガキにてご応募ください。採用の方には特典をプレゼント!

65年以上の実績と確かな技術

あなたのクルマに合った、最高のタイヤをご提供します。

個人のお客様 大歓迎 お気軽に相談ください

ブリヂストンタイヤ代理店

**横浜中央タイヤ**

YOKOHAMA CHUO TAIYA

〒220-0023 横浜市西区平沼1丁目38-2 咲久良ビル1F

TEL: 045-321-8545(代) 営業時間:月曜~土曜 9:00-17:30(定休日 日曜・祝日)

天声母語 編集 後記

皆様初めまして。横浜のあたらしい未来を想うローカルメディア・ココハマの編集長を任せられました、駒込と申します。

横浜の神奈川県出身、通学先は全て市内、職場も横浜駅周辺、祖父の代から刷り込まれた大洋とベイスターズへの愛を胸に、彼らの負け戦を見守る。そんなハマっ子として生涯を終え、見慣れた土地で永眠…の予定でしたが、3年前に夫と子どもと共に三浦半島へ移住を決定!理由は、「崖の上のポニョ」の宗介の家のような、気取らない海町での生活に憧れて。私の夢を叶えたおかげで、我が家の洗濯物は毎日磯臭いのです。

しかし、どこかで故郷(まあまあ近場)を捨てた負い目もあり、ココソコと横浜駅周辺やみなとみらい、関内や中華街辺りを漂いますけれど、なんとまあ魅力的なこと。横浜を出て初めて横浜の街や文化に感銘したのでした。

さて、今回の大役。横浜から「街と未来を考える人生の宿題」を貰い、首根っこを掴まれ引き戻された感覚があります。そして、つい先日旧友と野毛で乾杯。結局、横浜に囚われる人生なのです。

編集長:駒込

横浜出身のイラストレーター兼Gデザイナー。一児の母。好物はビールと向本太郎。